

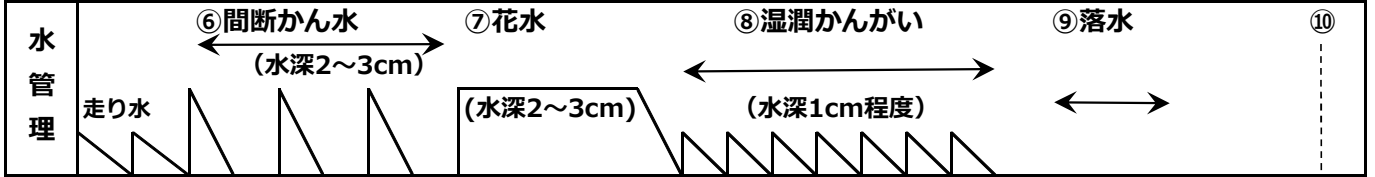
水稻栽培のポイント その3（穂肥～刈取期まで）

発行日：令和4年5月20日 発行：大山営農センター 協力：大山普及支所

★収量と品質の両方を確保するため、水管理の基本をおさえましょう！

品種	田植時期	時期の目安（平坦部の場合）					
ひとめぼれ	5/5	7/5	7/15	7/23	8/22～	8/30～9/2	
コシヒカリ	5/15	7/18	7/26	7/31	8/30～	9/2～9/11	
星空舞	5/25	7/27	8/3	8/8	9/7～	9/16～9/26	
きぬむすめ	6/3	7/28	8/7	8/19	9/18～	9/23～10/1	

栽培管理		穂肥 I	穂肥 II	出穂期		落水	刈取期
------	--	------	-------	-----	--	----	-----



⑥ 間断かん水

- ・中干しの後は、水をためっぱなしにせず、土の固さを保つ。

☆間断かん水の目的

- ・土に水分を供給 ⇒ 稲の生育促進
- ・土に酸素を供給 ⇒ 根の健全化
- ・土を固める ⇒ 作業性の確保
- ・早期落水の防止 ⇒ 品質向上

☆間断かん水の方法

- ・中干し・走り水の後、2～3cm水をためたら、入水をやめて、自然に水が無くなるまで待つ。（水をためっぱなしにしない）
- ・水が無くなったら1～2日干す。
- ・湿田や中干しできなかった田では、干す期間を長めにする。

⑧ 湿潤かんがい

- ・穂が出そろったら、湿潤かんがいとす。

☆湿潤かんがいの目的

- ・目的は間断かん水と同じ。
- ・この時期は、すぐに田が乾くので、こまめに水を入れる。

☆湿潤かんがいの方法

- ・1cm程度水をためたら入水をやめる。（水尻や田面の高い所まで湿っているか確認）
- ・いつも水がたまっている必要はない。足跡や溝に水がある程度を保つ。
- ・台風やフェーン現象のときは2～3cm水をためる。

⑨ 落水

- ・出穂期から30日後を目安とし、刈取りに備えて、水を完全に落とす。
- ・落水が早すぎると米の品質が低下。
- ・高温に強い「星空舞」や「きぬむすめ」も、早期落水すると白濁粒が発生し品質低下するので、品種ごとに落水時期を設定する。

⑦ 花水

出穂期前後は、稲が水を必要とする時期なので、水をためる（2～3cm程度）

適期刈取 ⑩

刈取り適期は左図参照

（左図：1穂の籾の1割程度が青く残っている）

ポイント